

「恋をしなくなった若者たち」

私は、日本から来る学生によく、失恋した経験があるかと聞くことにしている。ほとんどの学生、特に女子学生が、あの特有な抑揚で「ありませーん。」と答える。ということは、熱烈な恋愛などしたことがないということである。私は、大学四年間に異性との交際の中で、恋愛もし、また失恋の経験をすることが、人生にとって非常に大切なことだと思っているので、大学時代に異性に対する目を肥やさなかったら、結婚相手を見つける時困るぞと言うが、どうも熱烈な恋愛をする相手に巡り合わないようである。その原因はいろいろと取り沙汰されているが、男性の女性化、軟弱化、それに対する女性の男性化、実力発揮などが考えられる。カナダの女性の中にも、同世代の男性は頼りなく、幼稚で結婚の対象にはならないという人が多い。こちらの慣用句に、「いい男の人は、結婚しているか同性愛者だ。」というのがあるが、非常に実感がこもっている。

人間は一般的に思春期になれば、誰かが好きになり、片思いであろうと、たまたまお互いに好き合うにせよ、それが普通であった。ところが、現代では、その過程が自然ではなくなっているようなのだ。昔風の惚れたはれたの関係はもう時代遅れなのであろうか。理由は確かにいくつか考えられる。この人しかと熱をあげられるような人物が少ないこと。ぬるま湯社会で育った人間は、いくら格好をつけても、その底の浅さが見えてしまう。結局なーんだということになるから、すぐさめてしまう。また、男性も女性も、日本のような社会では、個を確立する機会がほとんどない。生まれたら、親、学校に上がれば、学校組織と教師、それが大学まで続き、就職すれば、組織が面倒を見てくれるというように、自分で努力をしない限り、日本では、人や組織に頼って楽な生活が出来る。このごろは、親の方も自分のエゴで子供をいつまでも自分の回りに置いておきたがる。家と将来の遺産を餌に、結婚した娘を自分の敷地に住まわせる。婿の家のことなどお構い無しである。それも婿が、長男だったりする。古いかもしれないが、向こうの両親は泣いていることであろう。ところが、男たちも、義理の親の方がよくしてくれるからなどと、情けないことを言って、唯々諾々と嫁さんの言いなりになっている。何とも情けない話ではないか。結婚は二人のもの、お互いに助け合って、ほしいものを少しづつ買って喜ぶというような考えは古いのであろうか。私は、若い人に、「家から結婚するな。」とよく言う。どういうことかという、結婚する前に、六ヶ月でもいいから自分でアパートでも借りて自活することを勧めたいのである。個を確立していない二人が、多分人生で一番困難な結婚生活をどうやって続けていくことが出来るのであるか。結局ままごとの結婚生活に見えてしまう。親も、昔は、もう他家に嫁に行ったのだから、そこを自分の家と思えと言ったものだが、現在は、問題があっ

たらいつでも帰っておいでと言うそうである。まったく行くと来るの違いではないか。子供の将来を思ったら、なぜへその緒が切れないのか。「かわいい子には旅をさせろ。」という格言を持ち出すまでもなく、若い人には、出来るだけ苦勞をさせることが、年配者の役割の一つである。苦勞と言っても、第三世界で餓死の可能性に直面して生きている人たちのことを考えたら、苦勞と呼ぶのが恥ずかしいくらいのチャレンジに過ぎないのである。

こういう風に考えてくると、若者だけを責められない、親の方も人間が出来ていないからだと言える。結局親も子も、大人も子供も、社員も会社も、生徒も教師も、お互いに利用し合って生きていると言える。勞なくいい生活をしたいたいという、ずるい打算がそこに働いている。なあなあでそこそこにとというのがこれであろうか。夫婦関係も同じことなのではないだろうか。家もいいし、一流大学を出て、一流会社に勤めているし、見掛けも悪くないから、このぐらいでいいかと結婚を決める女性が何人いることだろう。男の方も、自分でこの人がというような女性を見つける才覚も、実力もないから、適当なところで誤魔化しているか、自分は本当に愛されているなどと自惚れてしまう。この辺のところは女性の方が、ずっと上手であり、計算高いことなど気がつかない。要するに打算デート、打算結婚が多いと言えるだろう。「成田離婚」や「パッケージ離婚」などはその破綻がすぐやってきた例で、問題の氷山の一角に過ぎないと思う。前者については、大学の講義でこんな解説を学生にする。一般的に、女性の方が、海外経験をしているし、外国語の習得も得意である。そんな新婚者が、ハワイなどに新婚旅行に出かけるとどうなるか。日本では非常に格好よく見えた旦那が、外国に出たとたん、おたおたして色褪せてしまう。新婚旅行は、それだけでもかなりのプレッシャーなのに、言葉の問題、未知の場所、新しい人間関係などで、かなり参るはずである。嫁さんの方はそういう旦那の醜態を見て、元々、打算で結婚しているのだから、こんなはずではなかったとすぐ醒めてしまって、成田で離婚ということになる。当たり前の話である。男性諸君、もう少し賢くなれと言いたい。本命の女性との初めてのデートに一度も行ったことがない所などに行くな、新婚旅行も然りである。こんな事を言うと女性からお叱りが来そうだが、前に行ったことがある所なら、まず心の余裕が持てる、行く途中には、イカス喫茶店があり、目的地に着いたら、行くところは分かっているし、帰りは粋なレストランで食事というようにいいところを見せられるではないか。もちろん、他の女性と何回も来ているなどとべらべらしゃべる馬鹿はいないが、あまり悟られないように行動することが必要である。新婚旅行は、相手に安心感と信頼感を与えることが、一番の目的であると思う。ウチの旦那はやっぱり素敵だと相手に思わせることである。穿ったことを言うと、疲勞と心勞で、初夜もちゃんと出来ない男も多いのではないかとまでお節介なことを考えてしまう。最近、セックスをしない若夫婦が増えていると聞く。実際の統計は分からないが、打算で結婚していれば、性生活は、億劫で、苦痛になってくるのも当然ではないだろうか。何とも寂しい限りである。

後者の「パッケージ離婚」については、開いた口が塞がらないのであるが、や

はり、真摯な愛情の欠如に起因していると思う。最近の若い女性は、料理が出来ないというのは本当のようであるが、それをちっとも恥ずかしいとも思っていない。ウチの亭主は料理が好きだからなどと、うそぶいている女性も多くなった。もちろん、お互いがそう了解して住んでいるのであれば、第三者の口を出すところではないが、たいていの家庭では、未だに主婦業が大多数であろう。今はどこのスーパーに行っても、あらゆるお惣菜が手に入る。手間暇かけて作るのが馬鹿馬鹿しくなるのは当然であるが、亭主が家に帰ってくると、そんな晩のおかずが、パッケージのまま出ている。それで、「いくらなんでもお皿に盛ってほしい。」と亭主が言うと、嫁さんが、「そしたらお皿を洗わなければならぬじゃない。」と答えたというまことしやかな話を日本にいる母から聞いた。食事は多分人生で一番大事な要素である。何十年もまずい料理を食わされていたら、いくら美人の嫁さんでも、一生の不覚と悟る時が来るだろう。初めから料理が非常に上手な女性は余りいないであろうが、味付けにセンスがあるか、料理が好きか、学ぶ姿勢があるかが、キーである。母親が料理が上手というのも決め手の一つといえる。惚れて惚れられた女房が、心を込めて作った食事が待っていれば、男どももそんなにふらふらししないのではないか。しかし、初めから、あまり愛情がないなら、奥さんの方も、適当に出来合いで誤魔化すことになるであろう。

初めがこうであるから、子供が出来ると、奥さんは旦那を構わなくなるどころか、子供といっしょに厄介もの扱いをすることも多く見られる。最近は掃除や洗濯に時間がかからないから、子供が学校に行っている間は、エアロビクスとかテニスのレッスンなどと遊びまわっている女性群がよく見かけられる。

日本文化では対話が不足していると言われる。個人的なことを言うと、私の家内はカナダ人なので、この違いはよく気づかされる。彼女は、いつも亭主と話をしたいのである。私もだいぶ慣れたが、初めは、時々気苦労に感じたこともあった。日本人の夫婦に聞くと、一緒に旅をしても話すことがないと言う。皆が皆ということはないであろうが、北米人の場合、一般的に子供より亭主が優先である。子供はいずれ家を出て行くもの、残るのは夫婦二人とはっきり割り切っているから、亭主との対話を大切にする。それで、子供が成長して出て行くことを奨励するし、出て行っても「空巣症候群」にはあまりかからないようである。

女性ばかりを批判しては片手落ちである。女性がこうなったのも、男性側がだらしないからだとも言える。実力もないくせに、空威張りをしたり、格好ばかりにとらわれたり、好きな女性の足となり、バッグまで持ちたいというやからが多くなったと聞く。これでは女性になめられるばかりか、一個人として恥ずかしくないのか。まったく覇気のない男が増えたと嘆くと、年寄りの冷や水のように聞こえるが、男性諸君、男には男の役割があるはずである。それをどう了解するかは個人に任せるとしても、人生を真面目に考え、地道に努力をしている姿が一番魅力的に見えるのだ。あえて性差別用語的な表現を使わせて

もらえば、女性に惚れさせる甲斐性を持ってほしい。

愛情とは、畢竟相手を一個の人格としていかに愛するかということに帰着するが、やはりその前に個の確立ということが必要条件になっていると思う。個が確立した人間はもっと魅力的であり、そうやって初めて、この人でなければと思える人物も輩出してくることだろう。

1997年5月29日 トロントにて

ヨーク大学日本語科

太田徳夫

[語彙]

恋	こい	love
若者	わかもの	youth
失恋(する)	しつれん	broken heart
経験(する)	けいけん	experience
特有(な)	とくゆう	peculiar, characteristic
抑揚	よくよう	intonation
熱烈(な)	ねつれつ	passionate
恋愛	れんあい	love affair
異性	いせい	opposite sex
交際(する)	こうさい	dating
人生	じんせい	life
非常(に)	ひじょうに	extremely
大切(な)	たいせつ	important
目を肥やす	めをこやす	cultivate
結婚(する)	けっこん	marriage
相手	あいて	the other party
困る	こまる	have difficulty
巡り合う	めぐりあう	encounter
原因	げんいん	cause
取り沙汰(する)	とりざた	rumor
男性	だんせい	male
女性化(する)	じょせいか	feminize
軟弱化(する)	なんじゃくか	soften
女性	じょせい	female
男性化(する)	だんせいか	become masculine
実力	じつりょく	ability
発揮(する)	はつき	demonstrate

頼りない	たよりない	unreliable
幼稚(な)	ようち	immature
対象	たいしょう	object
慣用句	かんようく	idiom
同性愛者	どうせいあいしや	homosexual
実感(する)	じっかん	realize
こもる		be filled with
人間	にんげん	human being
一般的(に)	いっぱんてき	general
思春期	ししゅんき	adolescence
誰か	だれか	someone
好き(な)	すき	favorite
片思い	かたおもい	unrequited love
お互いに	おたがいに	mutually
好き合う	すきあう	love each other
普通	ふつう	ordinary
現代	げんだい	present-day
過程	かてい	process
自然(な)	しぜん	natural
昔風	むかしふう	old-fashioned
惚れたはれた	ほれたはれた	madly in love with
関係	かんけい	relationship
時代遅れ	じだいおくれ	outdated
理由	りゆう	reason
確か(に)	たしか	certain
考える	かんがえる	consider
熱をあげる	ねつをあげる	be smitten with
人物	じんぶつ	figure
ぬるま湯	ぬるまゆ	lukewarm water
社会	しゃかい	society
育つ	そだつ	grow up
格好をつける	かっこうをつける	try to look cool
底	そこ	bottom
浅さ	あささ	shallowness
結局	けっきよく	in the end
個	こ	individual
確立(する)	かくりつ	establish
機会	きかい	opportunity
生まれる	うまれる	be born
親	おや	parent
組織	そしき	organization
教師	きょうし	teacher

続く	つづく	continue
就職(する)	しょうしょく	be employed
面倒(を見る)	めんどう	care
自分(で)	じぶん	by oneself
努力(する)	どりよく	make effort
～ない限り	～ないかぎり	unless ...
頼る	たよる	depend on
楽(な)	らく	easy
エゴ		ego
子供	こども	children
回り	まわり	around
置く	おく	keep
将来	しょうらい	future
遺産	いさん	inheritance
餌	えさ	lure, bait
娘	むすめ	daughter
敷地	しきち	property
住まう	すまう	reside
婿	むこ	son-in-law
お構い無し	おかまいなし	paying no attention
長男	ちょうなん	oldest son
向こう	むこう	the other side
両親	りょうしん	parents
泣く	なく	cry
義理	ぎり	duty
情けない	なさけない	deplorable
唯々諾々	いいだくだく	obediently
嫁	よめ	one's wife
言いなりになる	いいなりになる	be under a person's thumb
助け合う	たすけあう	help each other
買う	かう	buy
喜ぶ	よろこぶ	be pleased
若い	わかい	young
借りる	かりる	borrow
自活(する)	じかつ	live on one's own
勧める	すすめる	recommend
多分	たぶん	maybe
一番	いちばん	most
困難(な)	こんなん	difficult
続ける	つづける	continue
ままごと		playing house
昔	むかし	in the old days

他家	たけ	another family
問題	もんだい	problem
帰る	かえる	return home
行くと来るの違い	いくとくるのちがい	hundred-eighty degree difference
へその緒	へそのお	umbilical cord
旅	たび	trip
格言	かくげん	saying, proverb
苦勞	くろう	hardship
年配者	ねんぱいしゃ	elderly person
役割	やくわり	role
第三世界	だいさんせかい	the third world
餓死(する)	がし	starve to death
可能性	かのうせい	possibility
直面(する)	ちよくめん	face
呼ぶ	よぶ	call
恥ずかしい	はずかしい	embarrassing
(～に)過ぎない	すぎない	no more than ...
風	かぜ	wind
責める	せめる	blame
大人	おとな	adult
社員	しゃいん	office worker
教師	きょうし	teacher
利用(する)	りよう	utilize
勞	ろう	effort, trouble
ずるい		cunning, sneaky
打算	ださん	calculating
働く	はたらく	work
なあなあ		collusive
そこそこ		noncommittal
夫婦関係	ふうふかんけい	marital relationship
一流	いちりゅう	first class
勤める	つとめる	be employed
見掛け	みかけ	appearance
悪い	わるい	bad
決める	きめる	decide
才覚	さいかく	resource
適當(な)	てきとう	appropriate
誤魔化す	ごまかす	cheat, deceive
本当に	ほんとう	indeed
愛す	あいす	love
自惚れる	うぬぼれる	be conceited

辺	へん	area
上手	うわて	better at
計算高い	けいさんだかい	calculating
要するに	ようするに	in short
成田離婚	なりたりこん	Narita divorce
パッケージ離婚		package divorce
破綻(する)	はたん	fail
例	れい	example
氷山の一角	ひょうざんのいっかく	tip of the iceberg
前者	ぜんしゃ	the former
講義(する)	こうぎ	lecture
解説(する)	かいせつ	comment
海外	かいがい	overseas
外国語	がいこくご	foreign language
習得(する)	しゅうとく	acquire
得意(な)	とくい	be good at
新婚者	しんこんしゃ	newlyweds
新婚旅行	しんこんりょこう	honeymoon
格好	かっこう	appearance
旦那	だんな	husband
(～た) とたん		just as
おたおたする		get all worked up
色褪せる	いろあせる	fade
言葉	ことば	language
未知(の)	みち	unknown
場所	ばしょ	place
参る	まいる	be overwhelmed
醜態	しゅうたい	disgrace
元々	もともと	from the beginning
醒める	さめる	cool off
当たり前	あたりまえ	natural
諸君	しよくん	you guys
賢い	かしこい	wise
本命	ほんめい	main candidate
初めて	はじめて	for the first time
一度	いちど	once
所	ところ	place
然り	しかり	same thing
お叱り	おしかり	scold
心	こころ	heart
余裕	よゆう	composure
途中	とちゅう	on the way

イカス		smart-looking, cool
喫茶店	きっさてん	coffee shop
目的地	もくてきち	destination
粋(な)	いき	stylish, smart
食事(する)	しょくじ	meal
馬鹿(な)	ばか	silly
悟る	さとる	realize
行動(する)	こうどう	action
必要(な)	ひつよう	necessary
相手	あいて	partner, the other party
安心感	あんしんかん	sense of security
信頼感	しんらいかん	sense of trust
与える	あたえる	give, provide
素敵(な)	すてき	great, splendid
穿った	うがった	farfetched, skewed
疲労(する)	ひろう	fatigue
心労	しんろう	anxiety
初夜	しょや	wedding night
お節介(な)	おせっかい	meddlesome
夫婦	ふうふ	married couple
増える	ふえる	increase
実際	じっさい	actually
統計	とうけい	statistics
性生活	せいせいかつ	sex life
億劫(な)	おっくう	tiresome
苦痛(な)	くつう	painful
当然(な)	とうぜん	natural
寂しい	さびしい	deplorable
限り	かぎり	general state of affairs
後者	こうしゃ	the latter
開いた口が塞がらない	あいたくちがふさがらない	dumbfounded
真摯(な)	しんし	sincere, serious
愛情	あいじょう	love
欠如	けつじょ	lack, shortage
起因(する)	きいん	originate, be due to
亭主	ていしゅ	hubby
了解(する)	りょうかい	understand, agree
惣菜	そうざい	daily dishes
手間暇	てまひま	labor and time
皿	さら	plate
盛る	もる	serve
要素	ようそ	factor, element

不覚	ふかく	mistake, error
悟る	さとる	realize
味付け	あじつけ	flavoring, seasoning
姿勢	しせい	attitude, posture
女房	にようぼう	wife, better half
込める	こめる	put into
心を込めて		with one's whole heart
構う	かまう	care
厄介(な)	やっかい	burdensome, nuisance
扱う	あつかう	treat
掃除(する)	そうじ	cleaning
洗濯(する)	せんたく	laundry, washing
群	ぐん	group, party, flock
対話	たいわ	dialogue
不足(する)	ふそく	lack
慣れる	なれる	be accustomed to
気苦労(な)	きぐろう	burdensome
優先(する)	ゆうせん	priority
残る	のこる	remain
割り切る	わりきる	take a clear-cut attitude
成長(する)	せいちょう	grow
奨励(する)	しょうれい	encourage
空巢症候群	からすしょうこうぐん (新造語)	empty-nest syndrome
批判 (する)	ひはん	criticize
片手落ち	かたておち	one-sided, unfair
空威張り	からいばり	bluster
覇気	はき	ambition, spirit
嘆く	なげく	deplore, lament
年寄りの冷や水	としよりのひやみず	indiscretion of the old
任せる	まかせる	leave to, entrust
真面目(な)	まじめ	serious
地道(な)	じみち	honest, steady, proper
努力(する)	どりよく	effort
姿	すがた	appearance, figure, pose
魅力的(な)	みりよくてき	attractive
性差別用語	せいさべつようご	gender-based discriminatory term
表現(する)	ひょうげん	expression
甲斐性	かいしょう	resourcefulness, reliability
畢竟	ひつきょう	ultimately, in the end, in short
人格	じんかく	character, personality
帰着(する)	きちやく	return to, boil down to

必要条件
輩出(する)

ひつようじょうけん
はいしゅつ

necessary condition
appear in great numbers

© Norio Ota 2000